

2013 年以降に病理検査を受けた方へ

「院内がん登録・DPC データと病理・放射線診断情報のデータの一元化と活用に関する研究」の実施について

1. 研究目的：平成 19 年にがん対策基本法が制定され、がん診療均てん化や情報提供のための方策が多角的に打ち出されています。しかしながら、いろいろなデータが独立に集積され十分に活用されていない現状があります。そこで、本研究では、院内がん登録と DPC (Diagnosis-Procedure Combination と呼ばれる、診療データ)、病理・放射線診断データ、臨床試験データの一元管理を試み、がん医療の実態の把握や診療の支援、臨床試験の知見を診療に活かせるよう、今後の診療に役立つデータベースを構築すると共にシステムの評価と活用法を検討することを目的とします。
2. 研究概要：全国の各病院が国立がん研究センターに毎年提出している院内がん登録データと、厚生労働省に提出している DPC、各病院がもっている病理・放射線診断データを参加病院から集積します。集積したデータと第三者機関が実施した臨床試験データを使って様々なことを行います。診療の現状を把握し課題の明確化や放射線診断や病理組織の画像を検索できるようなシステムの開発を行って診療や専門医教育の向上・効率化を目指します。また、今後の診療やがん対策の基礎資料の作成、研究の推進と、その応用にデータを活用し、医療の質の向上に貢献することが期待されます。
3. 研究対象： 当院では病理データのみ参加します。当院で 2013 年以降病理検査を受けた患者さんが対象になります。
4. 研究方法：まず、当院内で病理診断データから、個人情報削除して代わりに院内がん登録で個人情報を削除した際に置き換えられた研究番号を付けたものを国立がん研究センターで集積してデータベースを作ります。そのデータの一つの活用法として、病理診断における診療パターンの分析などをして、患者さんたちが受けている診療の実態を把握します。これらの結果は当院や多施設の診療パターンがわかるようになり、参加各病院が提供している医療の質を検討が可能となります。また、データベース化されることにより、珍しい症例や自分の施設では少ない症例についても多施設の診断や治療法を共有できるため治療方針の検討や国のがん政策への基礎資料を提供する事などが可能となります。この研究事業は平成 31 年 3 月 31 日で終了しますが、研究事業が終了したのちは研究番号も削除し、個人と結びつかない形で収集情報を治療や研究・教育に活用する予定です。
5. 個人情報保護に関する配慮： 氏名や診察券番号などの個人を識別する情報は国立がん研究センターへ提供する前に全て削除し、当院から持ち出される事は一切ありません。
6. 本研究への参加を拒否する場合： ご希望があれば、あなたの情報は削除して使わないように致しますので、いつでも以下の連絡先まで申し出てください。
7. 研究機関、研究責任者および研究者
国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部 東 尚弘 (研究責任者)
104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 TEL 03-3542-2511
8. 連絡先
 - ① 愛媛県松山市南梅本、〒791-0280
 - ② 責任医師名 寺本典弘 四国がんセンター 病理科
 - ③ TEL: 089-999-1111
 - ④ FAX: 089-999-1178

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい